

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年11月分】

1. 実施した活動の概要・状況

11月初旬には防災事業、天体観測イベントなど担当事業が立て続けにあり、他3名の協力隊のサポートを受けながら準備、運営に当たった。特に防災事業に関しては対象地域をはじめ防災士会や各種メディアからも関心が寄せられ、改めて海辺の地域における津波防災活動の重要性を感じた。

これから寒さも本格的になるが、冬は人のあたたかさが心地いいお気に入りの季節。雪道の運転は2年目でまだまだ油断はできないが、下北で過ごすことのできる最後の冬になるため、会える人に会い、下北をめぐる存分に楽しみながら、事業や活動を通して下北の皆さんから頂いた温かさに応えていけたらと思う。

〈主な活動〉

○11月9日（木）「第1回かわうち防災ぶろじえくと～谷地町・上町編～」

むつ市川内地域の谷地町集会所にて、谷地町・上町の皆さんを対象に防災イベントを実施した。イベントには2町内から18名の方にご参加いただき、逃げ地図（各自治体の防災マップ・ハザードマップなどの情報をもとに参加者の声を取り入れながら白地図に避難のための経路を書き込む取り組み）づくりを行った。

実際に長年地域で生活されている皆さんと一緒に地図を作り上げることで、「津波が来たらイチョウの木が倒れるかもしれない」「ここは以前津波が来たことのある場所だから危険」「山の方に避難した時、土砂崩れは大丈夫なのか？」など、多くの視点から避難経路を考えることができた。

参加者の方から「定期的で開催してほしい」とのご意見を頂いた。避難訓練への活用など今回のワークショップをきっかけに今後の地域防災活動につなげていけたらと思う。



作成した逃げ地図と一緒に記念写真



積雪の場合の津波避難について話し合う様子

○11月12日（日）KAWAUCHI 星空教室～2023秋～

むつ市海と森ふれあい体験館周辺で天体観測イベント「KAWAUCHI 星空教室～2023秋～」を実施した。夏から天候に恵まれず延期に延期をかさねてきたイベントだったが、雪が降る前に開催することができた。今回は講師として、長年この下北地域で天体観測を続けていらっしゃる元大平小学校校長の森脇敏彦先生にお越しいただき、秋～初冬にみることのできる星座や惑星・星雲などについての講義、外では実際に天体望遠鏡を使って「木星」や「土星」などを見せていただいた。望遠鏡をのぞき込んで土星の環を確認したり、温かい飲み物片手にハンモックに揺られたり、思い思いに川内の美しい星空をお楽しみいただけたように思う。



川内の星空と一緒に記念撮影



天体望遠鏡を使って木星を見る様子

○11月15, 17, 19, 25日 脇野沢食育イベント

11月中旬から下旬にかけて大崎隊員の担当事業である脇野沢を中心に下北の魚を使った食育イベントが多数あり、準備や運営に携わった。“四方海に囲まれた下北半島”とよく言われるが、イベント参加者の子どもたちは「魚をさばくのは初めて」とのこと。講師の東寿し大将の柿本氏や大崎隊員、それぞれの親御さんからレクチャーを受けながら鯛や鰯を3枚卸にしたり、骨を抜いたりしてお寿司やしゃぶしゃぶを作った。

「食」は地域の魅力発信において不可欠であり、地域の子どもたちがその魅力を知っていることは地域の未来に大きく貢献すると思う。今後は、今回参加してくれた脇野沢の子どもたちが他地域の子どもたちと調理をするなど、今回のイベントをきっかけに食育の輪が広がっていってほしいと思う。



東寿し大将から教わった方法で
鯛をさばく様子



ブリの骨抜きの様子

2. 翌月の活動予定

12月は以下の活動に加えて1月以降の冬季イベントの準備を進めていく。

- 12月2日（土） 下北ジオパーク学習・活動発表会
- 12月14日（木） むつ市民大学公開講座「地域おこし協力隊の活動について」
- 12月15日（金） 防災士会議
- 12月16日（土） むつかつ指導者研修会